

2025. 2.7

報道関係者 各位

<配信枚数 2 枚>

【立命館土曜講座のご案内】

■2025 年 3 月テーマ■

「『価値あるものを活かす都市』: 北欧、北米のクリエイティブ産業」

「江戸時代の飢饉対策と救荒食」

開催日程 : 2025 年 3 月 8 日 (土)・15 日 (土)

2025 年 3 月の立命館土曜講座は、立命館大学ゲーム研究センターの企画として「『価値あるものを活かす都市』: 北欧、北米のクリエイティブ産業」、立命館大学環太平洋文明研究センターの企画として「江戸時代の飢饉対策と救荒食」をテーマに開講いたします。

どなたでも無料で受講いただけますので、ご関心のある方のご参加をお待ちしております。

記

■3 月テーマ「『価値あるものを活かす都市』: 北欧、北米のクリエイティブ産業」

日時 : 2025 年 3 月 8 日 (土) 10:00~11:30

開催方法 : ハイブリッド講座 (末川記念会館 + Zoom ウェビナー)

■3 月テーマ「江戸時代の飢饉対策と救荒食」

日時 : 2025 年 3 月 15 日 (土) 10:00~11:30

開催方法 : ハイブリッド講座 (末川記念会館 + Zoom ウェビナー)

開催方法 : ハイブリッド講座 (対面・Zoom ウェビナー)

内 容 : 別紙参照

聴 講 料 : 無料

定 員 : 末川記念会館 180 人、Zoom ウェビナー 400 人

※実施前日 12:00 までに要事前申込。定員に達し次第、申込受付を終了。

申込方法 : 立命館土曜講座の WEB サイトよりお申し込みください。

<https://www.ritsumeit.ac.jp/doyo/>

主 催 : 立命館大学衣笠総合研究機構

そ の 他 : 文字通訳の配信を予定しています。

以上

本リリースの配布先: 京都大学記者クラブ

●内容についてのお問い合わせ先

立命館大学衣笠総合研究機構 担当: 武田・堀

TEL.075-465-8224

別 紙

■立命館土曜講座 3 月テーマ

『価値あるものを活かす都市』: 北欧、北米のクリエイティブ産業

日時：2025 年 3 月 8 日(土) 10:00～11:30

講師：立命館大学映像学部 教授 天野 圭二

講師による内容紹介：

1990 年代以降、クリエイティブ産業つまり「個人の創造性や技能、才能に由来し、また知的財産権の開発を通して富と雇用を創出しうる産業」の育成に力を入れる国々が増えてきました。映画やゲーム、音楽、ファッションやデザインなどを含むクリエイティブ産業は文化的な創造物を商品として扱うがゆえに、その地に根差した文化、歴史、伝統が活かされる領域でもあります。

土地と産業の関係については経済学においても古くから議論がなされてきました。例えば産業集積論は、現代経済における産業構造を地域論の視点から多角的に論じる学問領域です。多くの企業や大学、その他の関係組織が競争または協力し、共通性や補完性によってつらなる産業集積をクラスターといいます。この回の土曜講座では、北米やヨーロッパのクリエイティブ産業クラスターを概観しながら、それをヒントに京都の文化的資源の活用について考えていきます。

■立命館土曜講座 3 月テーマ

江戸時代の飢饉対策と救荒食

日時：2025 年 3 月 15 日(土) 10:00～11:30

講師：立命館グローバル・イノベーション研究機構 研究員 郡山 志保

講師による内容紹介：

江戸時代は、地震や津波、大雨洪水といった自然災害だけではなく、享保・天明・天保の三大飢饉をはじめ、各地で飢饉が発生しました。

飢饉とは、自然環境の影響を受けて農作物の出来が悪くなり、食糧が不足する事態に陥ることを言います。しかし、異常気象によって発生した飢饉だけではなく、人為的に発生した飢饉もありました。また、人々は飢饉時に飢えをしのぐため、代用食物となる救荒食を食していました。

繰り返し発生する飢饉に対し、領主はどのような対応・対策を取り、どのような救荒食を奨励したのでしょうか。

本講座では、江戸時代に生きた人々の飢饉(非常時)への対応力を通し、現代における災害への備えについて考えます。

■立命館土曜講座

1946 年から続く、市民向けの無料公開講座。故・末川博名誉総長の「学問や科学は国民大衆の利益や人権を守るためにある。学問を通して人間をつくるのが大学であり、大衆とともに歩く、大衆とともに考える、大衆とともに学ぶことが重要」との思いのもとに、大学の講義を市民に広く開放し、大学と地域社会との結びつきを強めることを目指しています。

<WEB サイト> <https://www.ritsumeai.ac.jp/doyo/>